

2026年2月6日

各位

株式会社 SBI 証券

金・銀・プラチナ取引サイトリニューアルのお知らせ ～マルチデバイス対応でスマートフォン・タブレットでも快適に取引可能に！～

株式会社 SBI 証券(本社:東京都港区、代表取締役社長:高村正人、以下「当社」)は、2026年2月14日(土)夜間より、金・銀・プラチナ取引サイト全面リニューアルを実施しますので、お知らせします。



このたびのリニューアルでは、デバイスを問わずお客さまがより快適にご利用いただけるよう、画面デザインやナビゲーションを中心に、多岐にわたる改善を行いました。これにより、メインサイト内での取引が可能となるほか、PC・スマートフォン・タブレットに対応したマルチデバイス環境を整備しています。

当社は「顧客中心主義」の経営理念のもと、2024年以降、WEBサイトおよびアプリ全体でUI/UXの向上に継続的に取り組んできました。今回のリニューアルは、金・銀・プラチナ取引においても「スマートフォンでも快適に取引したい」「他の商品と同じ画面で操作したい」といったお客さまからのご意見・ご要望にお応えするものです。

さらに、昨今の貴金属投資は世界的なインフレ懸念の継続や地政学リスクの高まりを背景に、投資家からの関心が高まり、市場全体としても注目度が高まっています。

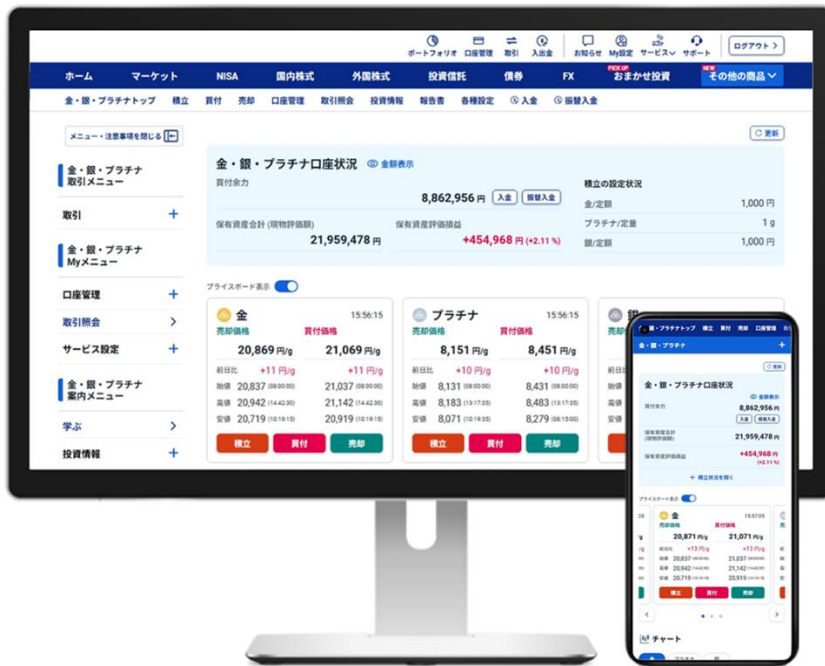
当社における金・銀・プラチナ取引もお客さまのご利用が拡大しており、2025年12月の新規取引者数は前年同月比で約2.3倍と大きく伸びております。また、投資信託や国内株式を保有中のお客さまが、投資対象の選択肢を広げる動きの一環として、新たに貴金属をポートフォリオに組み入れるケースも見られます。

こうした市場環境の変化やお客さまのニーズの高まりを踏まえ、今回のリニューアルでは利便性の向上に向けたさまざまな改善を実施します。主なポイントは以下のとおりです。

■本リニューアルの主なポイント

1.マルチデバイス対応を実現し、スマートフォンでも快適に操作可能に

PCだけでなく、スマートフォン・タブレットでも見やすく操作しやすい画面レイアウトに刷新。外出先でもチャート確認から買付・売却・積立設定まで快適に行えます。



2.メインサイト内でお取引が完結、導線が大幅改善

金・銀・プラチナ取引ページをメインサイトに統合することで、株式・投信など他の商品と同様の操作感でスムーズにご利用いただけるようになりました。

PCの場合

1 利用頻度の高い項目をショートカットメニューに表示

2 取引・口座管理等、目的別にメニューを表示

スマートフォンの場合

2 取引・口座管理等、目的別にメニューを表示

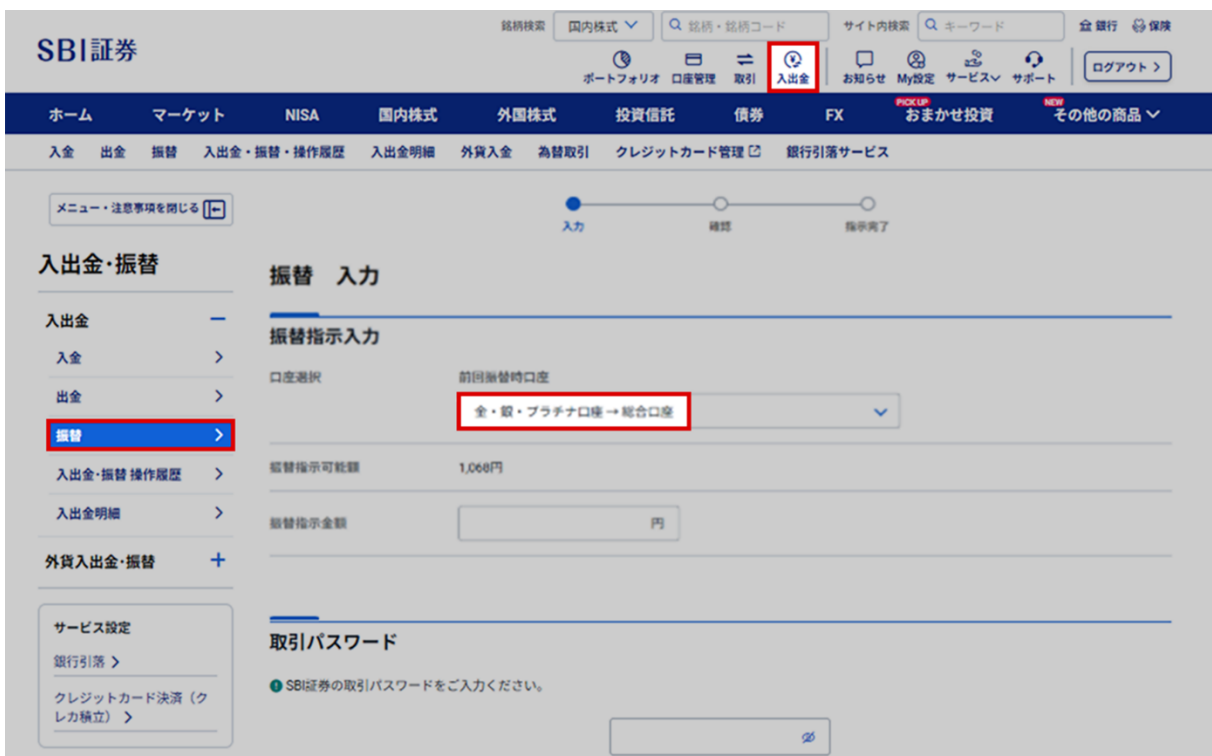
3. UI デザインを全面刷新し、視認性・操作性を向上

トップ画面では「買付余力」「保有資産」「積立設定状況」をひと目で確認でき、より直感的に操作いただけます。



4. 資金振替機能をメインサイト内に集約

これまで外部サイトに遷移していた資金振替操作がメインサイト内で完結することで、取引中の資金移動がよりスムーズになりました。



当社は、サービス品質の向上に継続的に取り組むことで、より多くのお客さまに安心してご利用いただける環境の整備を進めています。今後も「顧客中心主義」のもと、「業界最低水準の手数料で業界最高水準のサービス」を提供し、さらに多くのお客さまの資産形成を全力で支援していきます。

※ サイトリニューアルの詳細は[こちら](#)

<金融商品取引法等に係る表示>

商号等 株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者

登録番号 関東財務局長(金商)第 44 号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本 STO 協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会

<手数料等及びリスク情報について>

SBI証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)、店頭CFD取引(SBI CFD)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。
